上海の特徴

- 「大衆創業・万衆創新(双創)」 中国ではイノベーションとスタートアップを強力に推進。VC投資規模・ユニコーン数は米国と双璧をなすまで急成長。
- **14億人市場への入口としての**「**市場リーチ**」が評価され、**世界エコシステムランキングで８位**（Startup Genome社調べ）。
- 中国の経済首都であり、全国初の**「自由貿易試験区」**に指定される。国際金融センターの機能と合わせ、外資系企業の**中国市場へのランディングポイント**としての地位を確立し、**外資系763社のリージョナルヘッドクオーター、同477社の研究開発拠点を擁する**（2020年）。**日系企業は既に10,000社所在**。
- **世界トップクラスの大学が多数所在**（タイムズランキング：復旦大学（70位）、中国科技大学（合肥市 87位）、浙江大学（杭州市 94位）、上海交通大学（100位）、南京大学（南京市 111位））。
- 上海地域には北京地域の２倍、深圳地域の1.5倍のインキュベーションセンターが所在。 2019年には上海証取に新興市場「**科創板（Star Market）**」を設立。スタートアップのEXITも促進。
- IT・バイオ系企業が「**CHJ（漕河涇）ハイテクパーク**」「**張江ハイテクパーク**」に集積。また、「**上海国際汽車城**」では自動運転の技術開発・実証が進む。各ハイテクパークにハード面・ソフト面のインキュベーション機能を設け、スタートアップと大企業とのマッチングを推進して成長を支援する。

受託事業者

匠新（ジャンシン）
Takumi Innovators

- 2015年に上海で創立。2018年には深センと東京にも拠点を設立し、日中でのスタートアップおよびイノベーション連携を推進する日中アクセラレーター。
- 日系ベンチャー企業向け日中スタートアップ・アクセラレーション、日系大企業向け日中イノベーション・アクセラレーションを提供。
- 蘇州や杭州なども含めた「長江デルタ」の各地域、また北京や広州、成都、青島などの中国の各主要都市も提携先を通じて幅広くカバー。

CHJ（漕河涇）ハイテクパーク

- 中国初の国家レベルハイテク技術開発パークとして、4000社近くの科学技術企業及び世界500社を超える企業を集める。
- 「CHJ科技創業センター」は漕河涇ハイテクパークのスタートアップ支援部門として設立され、インキュベーターの運営、科学技術企業の育成等各方面において30年の経験を有する。これまで日本のほか、カナダ、オーストラリア、イタリア、ブラジルなどの海外創業者にも中国進出加速プロジェクトを提供。
- 起業経験者や弁護士、コンサルタントなど多数のアドバイザーとも提携し組織的にスタートアップをサポート。

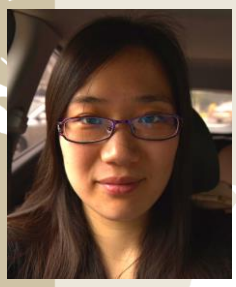
お申込み https://www.jetro.go.jp/form5/pub/iib/shanghai2021

Copyright©2021 JETRO, All rights reserved.

メンター(一部)

田中年一

「ジャンシン（匠新）」の創業者。2015年に上海でジャンシンを立ち上げ、2018年には深センと東京にも拠点を設立。財務会計（M&A、投資、IPO、監査）とITに知見のバックグランドを有する。
東京大学工学部航空宇宙工学科を卒業後、Hewlett PackardでのITエンジニア職、デロイトトーマツ東京/上海での会計士職を経て現在に至る。米国公認会計士、中国公認会計士科目合格。上海の発展に貢献した外国人を表彰する「白玉蘭記念賞」の2019年受賞者。中国語・英語・日本語に堪能。



馬騁（Ma Cheng）

CHJ（漕河涇）ハイテクパーク・イノベーションセンターの国際化プロジェクトマネージャー兼インキュベーション基地の運営マネージャーとして国内外のスタートアップ企業の発掘・育成・グローバル連携プロジェクトの提携業務に従事。併せてCHJ創営基地の運営を担当。CHJの育成プログラムを通じ、これまで日本、イタリア、オーストラリア、タイ等各国の多数のスタートアップを受け入れ。その他オーストラリアのクイーンズランド大学とのShanghai Mobility実習プロジェクトの主催、CHJインキュベーション施設内の企業によるLondon Tech Week参加につきイギリス訪問等、イノベーションの最先端で多数の国際プロジェクトを実施して経験を積む。
浙江大学を卒業後、オックスフォード大学大学院にて修士号を取得。英語・中国語に堪能。

金夏荫（Jin Xiayin / Tony）

CHJ（漕河涇）ハイテクパーク・イノベーションセンターのプロジェクトマネージャー。ハイテク関連スタートアップ企業に10年間サービスを提供した経験を有する。CHJイノベーションセンターとボッシュの提携交渉に当たっては、CHJ側の中核的役割を担うとともに、提携成立後も多くの共同プロジェクトを運営。
中国トップの理工系大学、中国科技大学の通信技術学科を卒業後、ボール州立大学大学院にて情報通信科学の修士号を取得。英語・中国語に堪能。

お申込み https://www.jetro.go.jp/form5/pub/iib/shanghai2021

Copyright©2021 JETRO, All rights reserved.